

トータルプレインの

# 點觀影

9 <上>

売れ行き鈍化の要因となったものとされた首都圏の新聞495件のデータに、「好調」「上昇」「苦戦」の3段階アーリング調査を0件(82・8%)回答を得た。

月に販売  
業マンシニア  
ベロッパー  
ますます」  
階評価でヒ  
行い、41  
）につれて

中央・新宿・渋谷・文京の販売戸数は57件・2517戸で平均坪単価が464・2万円(15年は413万円)。昨年はゼロに近かった「苦戦」物件が増加しており、その要因を「価格の割高感」とする回答が57%を占めた。苦戦物件は立地競

供給戸数減、販売単価は上昇

谷・文京)の販  
売戸数が464戸、  
価格が413万円)。  
物件は立地競  
争に近かつた  
が増加してお  
り、「価格の割  
合が57%を

山ザ・タワー（三井不動産  
Iconique）▽パー  
クコート元麻布ヒルテラス  
(三井不動産レジデンシャ  
ル)▽ブリリア高輪ザ・コ  
ート(東京建物)▽プラウド  
恵比寿南(野村不動産)など  
で、いずれも駅からの距離  
が徒歩10分以内だった。

駅から徒歩10分超の物件が増加し苦戦している。  
好調物件のうち▽ザ・パーカ尾山台(三義地所レジデンス)▽ピアースト北沢(モリモト)一は坪単価が400万円以上だが、駅徒歩5分以内の立地で「好調」だった。

スマッヂも多かった。  
好調物件のうち▽ヴィー  
クコート荻窪（清水総合開  
発）▽レゾンブリエ新中野  
(アロパスト)▽プラウド  
練馬春日町サンクアージュ  
(野村不動産)一戸は平均価  
格が6000万円以上。  
(10日付につづく)

首都圏の16年  
マンション販売

低下し「まわらぎ」の物件が増加するなど、売れ行きのスピードダウンが見られたと発表した。販売戸数は15年より16%減の2万876戸。販売平均価格は55万6千円（前年比1.4%アップ）、平均坪単価

首都圏の「好調」物件比率は30・2%（前年40・8%）、「まずまず」が41・%（同34・0%）、「苦戦」が28・8%（同25・2%）。  
《都心、城南で苦戦増》  
都心エリア（千代田・港・

争力が弱く坪単価400万円台のものが目立つた。

「好調」物件の要因は「立地」とした回答が89%、「割安感」が33%。坪単価600万円以上で「好調」物件は▽ザ・パークハウス千代田麹町（三菱地所レジデンス）▽パークコート青

・品川・大田)の販売戸数は43件・1877戸で平均坪単価が327・8万円(15年は359・3万円)。「好調」物件比率は15年の平均48・9%が16・3%に大幅ダウンし、「苦戦」比率が17・8%から34・9%に大

《城西は沿線で明暗》  
城西エリア（中野・杉並・練馬）では41件・138戸が供給された。平均坪単価は315・1万円（15年は2993・2万円）。  
供給が増加し価格もアップ。「好調」物件比率は昨年の33・3%から19・5%にダウン。苦戦物件は駅か

## 地区別の概要を見る

争力が弱く坪単価400万円台のものが目立つた。

城南アリア(黒・世田谷)

『城西に沿線て明暗』